

越中踊りが結んだ縁、村木小児童が来町



に、会場から大きな拍手喝さいが上がりました。

魚津市在住の元せり込み蝶六保存会長の名人、先名進さん(69)も6年ぶり3度目の来町。村木小、第二小両校の子供たちの合同練習で本場に伝わる踊りを指南しました。

富山県からの入植者が中心となって開拓が進んだ第二地区は、第二小の児童たちが中心となって越中踊りを郷土伝承の踊りとして伝えてきました。

昨年、魚津市を初めて訪問して「じゃんとこい魚津祭り」に初出演。「せり込み蝶六」街流し、傘踊りなど、踊りにさまざまな種類があること、そして本場の踊りと祭りの雰囲気を感じてきています。

発展築いた家畜に感謝

富山県魚津市の越中踊り「せり込み蝶六」の伝承が縁で相互交流をするようになった魚津市立村木小学校(福留正二校長)の児童が2年ぶりに来町。第二小学校の児童たちと一緒に踊り練習を通じて交流しました。

踊り上手な6年生8人。8月30日から3泊4日で第二小の児童15人と交流し、9月1日、交流最終日のJAでつべん祭りのステージで合同出演して成果を披露しました。3年前のステージに次いで2度目のつべん祭り合同舞台。両校の子供たちで息の合った踊り

8月28日、忠別公園(南町2丁目)の家畜感謝の碑で、東川町畜産振興協議会(会長・板谷重徳東川町農協組合長)が主催して家畜感謝祭を行いました。

町の発展の礎となった家畜への感謝

初のヒルクライムローラーズスキー大会



村上伊吹君(和寒中)

人、和寒中学校5人、東神楽小、同中学校と同町のクロスカントリークラブ7人、鷹栖中学校4人のほか、JR北海道スキー部、白滝中学校、朝日中学校、留萌中学校など、同競技の道内強豪どころの選手が集まり、練習成果を競いました。

ローラーズスキーは、軽金属フレームの前後にゴムローラー1輪ずつを取り付けて雪のない路面上でスキー滑走を可能にしたもの。冬季競技のクロスカントリズスキーのための夏季トレーニング用として早くから各地で導入されています。

これからも元気な長寿を祝って敬老会



松岡市郎町長が安倍晋三内閣総理大臣からの100歳記念のお祝いを、寺島シツエさんに伝達(ひだまりの里で)

9月15日、特別養護老人ホーム・羽衣園、隣接の老人保健施設・ひだまりの里で1日早い敬老会が開かれました。

ひだまりの里(本村勝昭施設長、80人入所)では、町内の女性合唱サークル、みずほコーラスの皆さん13人が来園。「青い山脈」「荒城の月」「高原列車は行く」「ふるさと」など、昭和世代になつかしい流行曲を中心に6曲を披露、会場からは手拍子も。

実りの秋に合わせて小さな稲刈りポットも登場しました。皆さんは手刈りの鎌を手に、黄金に実った稲の穂を刈り取りし、刈った稲穂をばさ掛けに入園している方の多くは農家だった皆さんだけに手さばきも見事。昔取ったきねづか、とばかり手際よく刈り入れし、元気な笑顔があふれていました。

新米キャンペーン、予約も販売も絶好調

東川町産の今年の新米「ほしのゆめ」の販売開始の先陣を切って、9月21日から24日まで、4日間新米キャンペーンが行われました。

今年の予約申し込み数は千250件、み数は千250キログラム。前年に比べて件数で34.9%増、数量で30.8%増(約8.2ト)増といううれしい人気ぶり。昨年全国初めて認められた地域団体商標「東川米」が2年目を迎え、そのおいしさがすっかり浸透したよう。

町内4カ所の販売引き換え所のうち、最もにぎわったのは道の駅ひがしかわ道草館。初日だけで事前予約した30

0人以上の方が購入に訪れました。併設した郵便局の臨時発送窓口では、本州各地の親戚や知人に郵便発送を依頼する人が次々並び、一人で10件以上も発送手続きをする人も。おいしい東川米ブランドへの皆さんの信頼が年々高まってきているよう。

3連休とあつて一般の観光客も多く、「予約でしか買えないの？」と残念がる声も。購入できなかった観光客の皆さんは、テント販売の生産直売コーナーで新米を買い求め、こちらも好調な売れ行きを見せていました。



輸送繁忙期の事故防げー秋の交通安全祈願

9月20日、町交通安全協会(藤田裕三会長)が道道旭川旭岳温泉線(基線道路)の交通安全観音像前(北町1丁目)で交通安全運動祈願祭を行いました。

職場から、学校から」と交通安全運動の取り組みを呼びかけました。

この日は、外国製大型バイクに乗って道内各地で交通安全を呼びかけている民間団体、北海道ハーレー隊(小堤齊隊長)の一行6人も旭川、岩見沢から駆け付け、松岡市郎町長に交通安全要請文を託しました。



町内の事業所、各種団体、交通安全指導員の皆さん約60人が集まりました。全国一斉秋の交通安全運動に先立って、観音像の前に交通事故ゼロを祈願。松岡市郎町長は「家庭から、地域から、

期間中、町交通安全協会では、交通安全サポート隊、交通安全指導員が第

1、第3地区で交通安全啓発の個別訪問を行いました。